

平成22年10月22日

貧酸素水塊速報 (2010年)

〔発行〕 千葉県水産総合研究センター
神奈川水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会

〔協力〕 千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年10月18日観測結果

貧酸素水塊は内湾中央～北部を中心に分布しており、同域では酸素量が 0.5ml/L 以下と強く貧酸素化した水塊が依然として認められました。また、貧酸素水塊の規模も、前回(10月5日)と同程度を保持していました。

表層水温は全域22 前後でした。湾奥はやや赤潮が濃く、海面は紅～褐色を呈していました。

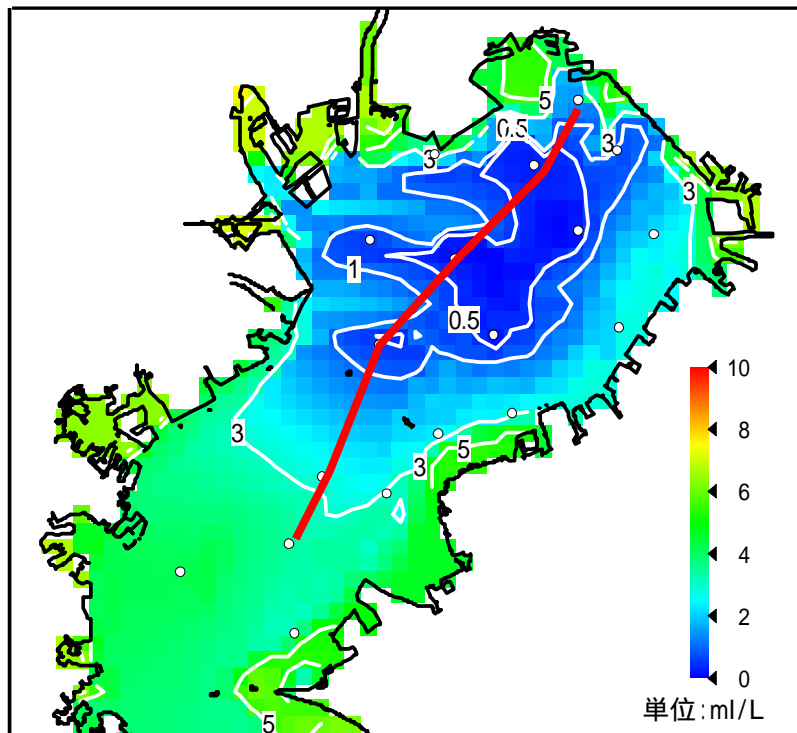


図1 底層の溶存酸素量の分布 (赤線は縦断ライン)

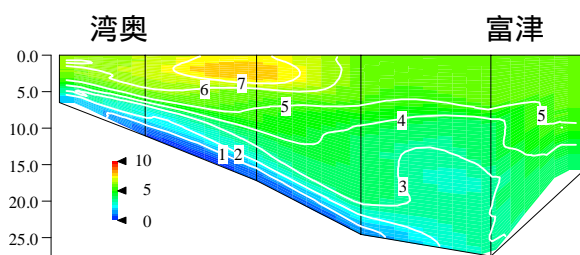


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

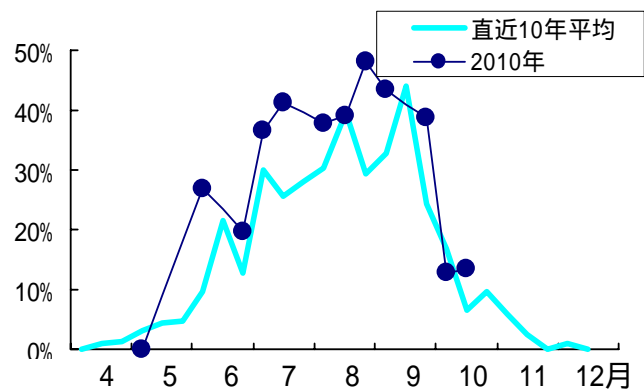


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)